

同時発表：中部地方整備局

令和8年3月23日  
道路局国道・技術課

## 「低炭素アスファルト技術」に関する公募について ～道路分野の脱炭素化を目指して～

2050年カーボンニュートラルの実現に貢献し、道路の脱炭素化の取組を推進するため、「道路分野の脱炭素化政策集 Ver. 2.0」がとりまとめられ、2030年度に、高速道路会社や自治体と協働し、道路工事における低炭素アスファルト合材の出荷量について全体の6%を目指すことが求められています。

このような背景から、カーボンニュートラルに向けた舗装技術の状況を踏まえ、ほぼ確立されている低炭素アスファルト技術を公募します。

なお、本公募は企業や製品・技術の認定を行うものではありません。

1. 公募期間：令和8年3月23日（月）～令和8年5月22日（金）
2. 公募要領及び応募資料作成要領：  
下記ホームページより、公募要領及び応募資料作成要領をダウンロードできます。  
<https://www.jice.or.jp/roadtech/lc-as>

3. 公募に関する問合せ：

一般財団法人 国土技術研究センター 道路政策グループ  
低炭素アスファルト技術公募担当

TEL：03-4519-5002 E-mail：[lc-as@jice.or.jp](mailto:lc-as@jice.or.jp)

※「一般財団法人 国土技術研究センター」は、道路技術懇談会を経て導入促進機関として選定されている機関です。

### <問合せ先>

- ① 技術公募について  
中部地方整備局道路部 道路構造保全官 蒲（かば）  
TEL 代表：052-953-8176（内線 4123）
- ② 新技術導入促進計画に記載の低炭素アスファルト技術について  
道路局国道・技術課道路メンテナンス企画室 課長補佐 三好（みよし）  
TEL 代表：03-5253-8111（内線 37892）、直通：03-5253-8494

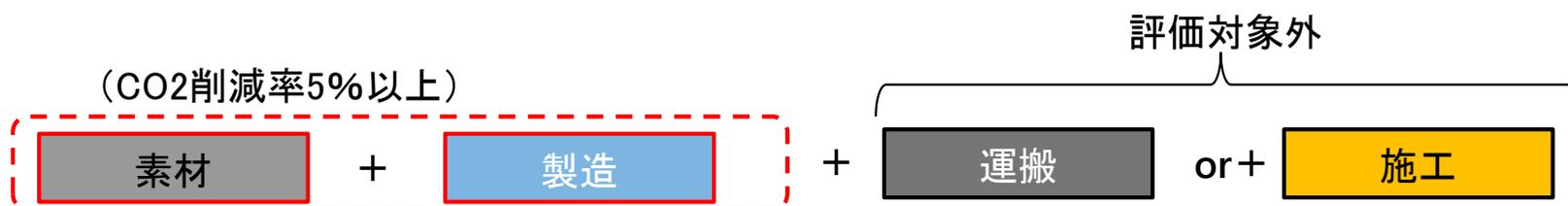


# 低炭素アスファルト技術公募について

- 道路の脱炭素化の取組を推進するため、「道路分野の脱炭素化政策集Ver.2.0」がとりまとめられ、2030年度に、高速道路会社や自治体と協働し、道路工事における低炭素アスファルト合材の出荷量について全体の6%を目指すことが求められています。このような背景から、カーボンニュートラルに向けた舗装技術の状況を踏まえ、低炭素アスファルト技術を公募します。

## 公募する技術

- 速やかな社会実装を進めるため、ほぼ確立された技術・工法とし、アスファルト混合物の素材・製造・運搬・施工において、改質Ⅱ型アスファルト混合物（ポリマー改質Ⅱ型密粒度アスファルト混合物）よりもCO2を減らすことができる舗装技術を対象とする（下図参照）。なお、「ほぼ確立されている技術・工法」とは、応募技術の試験施工（構内道路・現道）が実施され、現場実装段階のもの」を指す。
- アスファルト混合物とし、バインダー種類や新規骨材/再生骨材を問わない。
- 一定の規模を有する舗装工事において、改質Ⅱ型アスファルト混合物と比べ「素材・製造」のCO2削減率5%以上とする技術とする。なお、「素材・製造」に加え、「運搬」「施工」の組み合わせでも応募可能とするが、この場合「運搬」「施工」は評価の対象としない。提案の「運搬」「施工」技術に要するCO2排出量は従来の技術と比べ、同程度以下であること。また、今後の修繕工事を見据え、改質Ⅱ型アスファルト混合物と比べ施工性や工事交通規制の開放時間などが同程度であることとし、緊急補修時の技術（ポットホールの穴埋め等局所的な補修工事に用いる技術）等は除く。



※イメージ